

追加型投信 / 内外 / 株式

# グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド(為替ヘッジあり) 〈愛称:健次(ヘッジあり)〉 当ファンドの足下の運用状況等について

ファンド情報提供資料  
データ基準日:2020年3月31日

※本資料は、ウエルトン・マネージメント・カンパニー・エルエルピー(以下、「ウエルトン社」ということがあります。)のコメントをもとに三菱UFJ国際投信が作成しています。

平素は、「グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド(為替ヘッジあり)〈愛称:健次(ヘッジあり)〉」をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。足下の相場が不安定に推移する中、当ファンドの運用状況等についてご報告いたします。今後とも、当ファンドをご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

当ファンドは、引き続き、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行っています。

2020年2月下旬以降、新型コロナウイルス感染症(以下、新型肺炎)の感染拡大などを背景に経済の減速懸念が高まり世界的に株価が下落しました。

- ▶ 新型肺炎の影響については短期的には不透明な部分も多い等の理由により、新型肺炎という観点のみでの銘柄選定は行っていません。…P2
- ▶ 引き続き、革新的な医薬品や医療機器の分野に注目しています。…P2
- ▶ 優れた開発力を有すると判断した銘柄に投資しており、結果的に新型肺炎に関連した銘柄も保有しています。…P3
- ▶ 株価下落に伴い、株価のバリュエーション(割高・割安の度合い)の観点から投資妙味の高まった銘柄の購入などを実施しました。…P4

## 当ファンドの基準価額等の推移

《設定来》

(期間:2016年11月25日(設定日)~2020年3月31日)



《年初来》

(期間:2019年12月30日~2020年3月31日)



- ・基準価額、基準価額(分配金再投資)は、1万口当たりであり、運用管理費用(信託報酬)控除後の値です。
- ・信託報酬率は、後記の「ファンドの費用」に記載しています。
- ・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

・上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりません。・市況の変動等により、上記の運用方針通りの運用が行えない場合があります。

## グローバル・ヘルスケア &amp; バイオ・ファンド(為替ヘッジあり) 〈愛称: 健次(ヘッジあり)〉

Q1

新型肺炎に注目した銘柄選定を行わないのは、なぜですか。

A1

感染拡大の状況、治療薬／ワクチンの開発は依然として不透明な部分が多く、また開発に成功した場合でも、開発企業の収益見通しが困難なためです。

- 新型肺炎は世界的な大流行(パンデミック)となっており、終息の見通しが立たない状況です。このような中、多くの製薬企業などが、既存医薬品の転用／新薬の開発／ワクチンの開発などを進めています。また、医療機器企業による新型肺炎向けの検査機器の開発も同時に進行しています。
- このような取り組みを受けて、ヘルスケア株式が反発する日もありましたが、現段階では、開発案件の進行状況には未だ不透明な部分が多く、確信を持って中長期的な投資妙味を正しく判断できるものは限られていると考えています。
- また、開発に成功した治療薬やワクチンに高額な薬価を設定することは倫理上ハードルが高く、開発企業の収益にどの程度貢献するのかを見通すことも難しいと考えています。
- ただし、上記の開発状況が、今後中長期的に収益性が期待できると判断できれば、新型肺炎という観点からの銘柄選定を行う可能性はあります。

Q2

注目している分野を教えてください。

A2

引き続き、革新的な医薬品や医療機器の分野に注目しています。

- 近年、米国を中心に医療費を抑制する傾向が強くなり、今後もこの傾向は継続すると考えられることから、引き続き相対的に薬価が下がりにくい革新的な医薬品や、テクノロジーとともに進化する医療機器の分野に注目しています。
- 医薬品の分野では、特にがん免疫治療薬や、実用化が進み始めた遺伝子治療薬・ゲノム解析に関連する銘柄に注目しています。
- 医療機器の分野では、業界の再編が進む中で差別化された技術を持つ医療機器の銘柄や、中長期的なテーマとして、遠隔医療関連の銘柄にも注目しています。
- なお、特定の分野で競争力のある新薬候補を有し、M&A(合併買収)の対象にもなりやすい中小型銘柄、あるいは上場後に投資対象となり得る未上場のバイオテクノロジー企業にも引き続き注目しています。
- 足下のように将来の収益見通しが立ちにくい環境においては、財務状況が安定しており、豊富な資金力と優れた開発力を持つ銘柄を選好しています。資金力の乏しい銘柄は高いリスクにさらされる可能性があり、銘柄を選別していく重要性は今まで以上に高まると考えています。

・上記は、過去の実績・状況または作成時点での見直し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。  
 ・市況の変動等により、上記の運用方針通りの運用が行えない場合があります。

## グローバル・ヘルスケア &amp; バイオ・ファンド(為替ヘッジあり) 〈愛称: 健次(ヘッジあり)〉

Q3

当ファンドの組入銘柄に、新型コロナウイルスに関連する銘柄はありますか。

A3

優れた開発力を有すると判断した銘柄に投資しており、結果的に新型コロナウイルスに関連した銘柄も保有しています。(2020年3月31日現在)

## 既存医薬品の転用

## ロシュ・ホールディング



- 2020年3月19日、ロシュ・ホールディングは「アクテムラ」(一般名:トシリズマブ)について、新型コロナウイルスによる重症患者を対象に臨床試験を開始すると発表しました。
- 同剤は、ロシュ・グループの一員である中外製薬が大阪大学と共同で研究し創成した日本発の医薬品として注目されています。

## 新薬の開発

## 武田薬品工業



- 2020年3月4日、武田薬品工業は新型コロナウイルス治療薬として「TAK-888」の開発に着手すると発表しました。
- 同剤は、新型コロナウイルスが回復した人より採取した血漿(けっしょう)から得た病原体特異的な抗体を濃縮して精製したものです。この抗体を患者に投与することで、患者の免疫活性を高め、回復の可能性を高めることが期待されます。
- 同社が2019年1月に買収したシャイアー社(アイルランドの製薬企業)が強みを持つ血漿分画製剤のノウハウやネットワークを活用し、早期の実用化を目指しています。

## 検査キット

## アボット・ラボラトリーズ



- 2020年3月27日、アボット・ラボラトリーズは新型コロナウイルスの陽性判定を最短5分で確認できる検査機器を米食品医薬品局(FDA)から緊急使用許可を受けたと発表しました。
- 米国の医療機関で1日5万件の検査を可能にする目標で検査キットを増産しています。
- この検査キットは、同社の検査機器「ID NOW」を利用しています。「ID NOW」は2014年に発売され、インフルエンザなどのウイルス検査で既に全米の多数の医療機関で使用されている機器です。「ID NOW」により、陽性の場合は最短5分、陰性の場合は13分で判定できるとのことです。

(出所)各種資料を基に三菱UFJ国際投信作成

・写真はイメージです。・上記は、新型コロナウイルスに関する各社の取り組みを紹介するために、2020年3月末時点の組入銘柄よりウエルントン社が抽出した一例であり、個別銘柄の推奨を目的とするものではなく、当ファンドにおいて上記の銘柄を組み入れることを保証するものではありません。

・上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。

## グローバル・ヘルスケア&amp;バイオ・ファンド(為替ヘッジあり) 〈愛称:健次(ヘッジあり)〉

Q4

今回の株価下落局面における売買銘柄について教えてください。

A4

2020年3月以降、下記銘柄などの売買を行いました。

## 購入

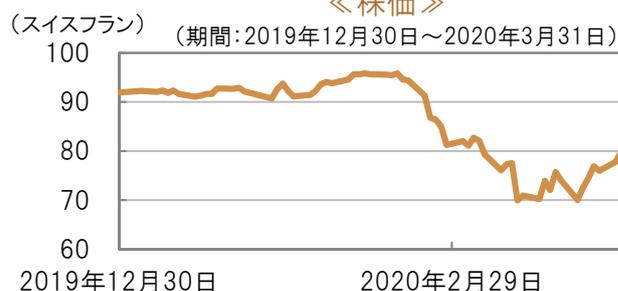
## ■ インテュイティブサージカル

- **銘柄紹介:**米国の医療機器企業。手術支援ロボット「ダビンチサージカルシステム」は世界的に普及しており、高い収益性を誇る。
- **購入理由:**ファンダメンタルズ(経済の基礎的条件)の健全性や質の高い経営陣を以前より高く評価しており、足下の相場下落により魅力的なバリュエーション(割高・割安の度合い)となったことを受けて、新規で購入しました。



## ■ ノバルティス

- **銘柄紹介:**スイスの製薬企業。遺伝子治療等のバイオ医薬品の開発に注力。
- **購入理由:**「キムリア」(白血病治療薬)に代表されるような革新性の高い新薬の研究開発力と、経営陣の質の高さを評価し、組入比率第3位で保有しています(2020年3月末時点)。2020年初に利益確定のため一部売却を行いました。足下で株価が下落し再び魅力的なバリュエーション(割高・割安の度合い)となったため、追加で購入しました。《株価》



・スイス証券取引所の2019年最終取引日は、2019年12月30日です。

## 売却

## ■ フォーティー・セブン

- **銘柄紹介:**米国のバイオテクノロジー企業。差別化されたがん免疫治療薬の新薬候補を武器に、2018年6月に上場。
- **売却理由:**未上場の頃から調査を進め、上場後に購入しました。2020年3月2日、ギリアド・サイエンシズ(米国の製薬企業)による買収が発表され、プレミアムが乗った価格で一部売却しました。



## ■ バイोजェン

- **銘柄紹介:**米国のバイオテクノロジー企業。アルツハイマー型認知症、パーキンソン病や多発性硬化症などの神経疾患向け治療薬を開発。
- **売却理由:**同社が強みを持つ治療薬群は通院による投薬の必要があるものが多く、新型肺炎の急激な感染拡大による患者の通院頻度低下の影響をより大きく受ける可能性に加え、ガバナンス(企業統治)への不信心などから全売却しました。《株価》



(出所)Bloombergのデータを基に三菱UFJ国際投信作成

・上記は、2020年3月以降に売買した銘柄の中から、ウエリントン社が抽出した銘柄を一例として紹介したものであり、個別銘柄の推奨を目的とするものではなく、当ファンドにおいて上記の銘柄を組み入れることを保証するものではありません。

・上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。

# グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド(為替ヘッジあり) (愛称:健次(ヘッジあり))

追加型投信/内外/株式

## ファンドの目的・特色

### ■ファンドの目的

信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。

### ■ファンドの特色

**特色1 世界主要先進国市場のヘルスケア・バイオ関連企業の株式を主要投資対象とします。**

- ・世界主要先進国市場の中から、製薬、バイオテクノロジー、医療製品、医療・健康サービス関連企業等の株式に分散投資を行います。
- ・株式の組入比率は、原則として現金比率をできるだけ抑え、高位を維持します。

**特色2 財務・収益状況(ファンダメンタルズ)の健全な企業へ長期的な割安度を重視して投資(バリュー投資)を行います。**

- ・新商品の開発、企業の合併・統合、政策変更等を背景としたヘルスケア・バイオ市場の変化によってもたらされる投資機会に着目します。
- ・銘柄選定は、ヘルスケア・バイオ関連企業の財務データや業績見通しといった株価を動かす基本的な要因を重視した分析(ファンダメンタルズ分析)に基づいて行います。
- ・企業の事業見通し、新商品の見込み、企業戦略、競争性等に重点を置いたボトムアップ・アプローチ\*を行います。
- \*【ボトムアップ・アプローチ】 投資対象となる個別企業の調査、分析に裏付けられた投資判断をもとに銘柄選定を行い、その積み上げによりポートフォリオを構築していく方法です。

**特色3 原則として為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をはかります。**

- ・外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行います。なお、米ドル建以外の資産については、当該資産の通貨と異なる通貨で為替ヘッジを行うことがあります。

**特色4 株式等の運用にあたっては、ウエルトン・マネージメント・カンパニー・エルエルピーに運用指図に関する権限を委託します。**

※運用の指図に関する権限の委託を受ける者、委託の内容、委託の有無等については、変更する場合があります。

**特色5 年2回決算を行い、収益の分配を行います。**

- ・毎年2月27日および8月27日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。

収益分配方針

- ・分配対象額の範囲は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。
- ・委託会社が基準価額水準・市況動向等を勘案して、分配金額を決定します。(ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わない場合もあります。)

将来の収益分配金の支払いおよびその金額について保証するものではなく、委託会社の判断により、分配を行わない場合もあります。

原則として、決算日の基準価額水準が当初元本額10,000円(10,000口当たり)を超えている場合には、当該超えている部分について、分配対象額の範囲内で、全額分配を行います。(資金動向や市況動向等により変更する場合があります。)

### ■ファンドのしくみ

- ・ファミリーファンド方式により運用を行います。

<当ファンドが主要投資対象とするマザーファンド>

グローバル・ヘルスケア&バイオ・オープン マザーファンド

市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。

**ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。**

## グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド(為替ヘッジあり) (愛称:健次(ヘッジあり))

追加型投信／内外／株式

### 投資リスク

#### ■基準価額の変動要因

ファンドの基準価額は、組み入れている有価証券等の価格変動による影響を受けますが、これらの運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。

したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

投資信託は預貯金と異なります。

ファンドの基準価額の変動要因として、主に以下のリスクがあります。

**株価変動リスク** 株式の価格は、国内および国際的な政治・経済情勢、発行企業の業績、市場の需給関係等の影響を受け変動します。株式の価格が変動すれば当ファンドの基準価額の変動要因となります。

**為替変動リスク** 当ファンドは、主に米ドル建の有価証券に投資していますので(ただし、これらに限定されるものではありません。)、為替変動リスクが生じます。これら外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をはかりますが、設定や解約等の資金動向、為替ヘッジのタイミングおよび範囲、ならびに市況動向等の要因により、完全に為替変動リスクを排除することはできません。なお、米ドル建以外の資産については、当該資産の通貨と異なる通貨で為替ヘッジを行うことがあり、この場合には為替変動リスクが生じることがあります。

また、為替ヘッジを行うにあたり、ヘッジコストが発生する場合があります。円金利がヘッジ対象となる外貨建資産の通貨の金利より低い場合、円とヘッジ対象となる外貨建資産の通貨との金利差相当分のヘッジコストがかかることにご留意ください。ただし、為替市場の状況によっては、金利差相当分以上のヘッジコストとなる場合があります。

上記のリスクは主なリスクであり、これらに限定されるものではありません。

#### ■その他の留意点

- ・投資信託(ファンド)の分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。なお、分配金の有無や金額は確定したものではありません。
- ・分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間における当ファンドの収益率を示すものではありません。
- ・受益者の個別元本によっては、分配金の一部ないしすべてが、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。
- ・当ファンドのお取引に関しては、クーリングオフ(金融商品取引法第37条の6の規定)の適用はありません。

ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

# グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド(為替ヘッジあり) (愛称:健次(ヘッジあり))

追加型投信/内外/株式

## 手続・手数料等

### ■お申込みメモ

購入単位	販売会社が定める単位/販売会社にご確認ください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額 ※基準価額は1万口当たりで表示されます。基準価額は委託会社の照会先でご確認ください。
換金単位	販売会社が定める単位/販売会社にご確認ください。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を差引いた価額
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して5営業日目から販売会社においてお支払いします。
申込不可日	次のいずれかに該当する日には、購入・換金はできません。 ・ニューヨーク証券取引所、ニューヨークの銀行の休業日 ※具体的な日付については、委託会社のホームページ(「ファンド関連情報」内の「お申込み不可日一覧」)をご覧ください。
申込締切時間	原則として、午後3時までに販売会社が受付けたものを当日の申込分とします。
換金制限	当ファンドの資金管理を円滑に行うため、大口の換金のお申込みに制限を設ける場合があります。
購入・換金申込受付の中止及び取消し	金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止すること、およびすでに受付けた購入・換金のお申込みの受付を取消すことがあります。また、信託金の限度額に達しない場合でも、運用規模・運用効率等を勘案し、市況動向や資金流入の動向等に応じて、購入のお申込みの受付を中止することがあります。
信託期間	2029年2月27日まで(2016年11月25日設定)
繰上償還	受益権の口数が10億口を下回る場合等には、信託期間を繰上げて償還となる場合があります。
決算日	毎年2・8月の27日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	年2回の決算時に分配を行います。 販売会社との契約によっては、収益分配金の再投資が可能です。
課税関係	課税上は、株式投資信託として取扱われます。個人受益者については、収益分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の譲渡益に対して課税されます。NISA(少額投資非課税制度)およびジュニアNISA(未成年者少額投資非課税制度)の適用対象です。税法が改正された場合等には、変更となる場合があります。くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

### ■ファンドの費用

<b>お客さまが直接的に負担する費用</b>	
購入時手数料	購入価額に対して、 <b>上限3.30%(税抜 3.00%)</b> (販売会社が定めます) (購入される販売会社により異なります。くわしくは、販売会社にご確認ください。)
信託財産留保額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額に <b>0.3%</b> をかけた額
<b>お客さまが信託財産で間接的に負担する費用</b>	
運用管理費用(信託報酬)	日々の純資産総額に対して、 <b>年率2.420%(税抜 年率2.200%)</b> をかけた額
その他の費用・手数料	監査法人に支払われる当ファンドの監査費用・有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料・有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用・その他信託事務の処理にかかる諸費用等についても当ファンドが負担します。 ※上記の費用・手数料については、売買条件等により異なるため、あらかじめ金額または上限額等を記載することはできません。

※運用管理費用(信託報酬)および監査費用は、日々計上され、当ファンドの基準価額に反映されます。毎決算時または償還時に当ファンドから支払われます。

※上記の費用(手数料等)については、保有金額または保有期間等により異なるため、あらかじめ合計額等を記載することはできません。なお、当ファンドが負担する費用(手数料等)の支払い実績は、交付運用報告書に開示されていますのでご参照ください。

## 本資料のご利用にあたっての注意事項等

●本資料は、三菱UFJ国際投信が作成した資料です。投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。●本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。●本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。●本資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。●投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。銀行等の登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の補償の対象ではありません。●投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。

### ●委託会社(ファンドの運用の指図等)

三菱UFJ国際投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号

加入協会:一般社団法人 投資信託協会

一般社団法人 日本投資顧問業協会

<ホームページアドレス> <https://www.am.mufg.jp/>

<お客さま専用フリーダイヤル> 0120-151034

(受付時間 営業日の9:00~17:00)

### ●受託会社(ファンドの財産の保管・管理等)

株式会社りそな銀行

**ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。**

## 販売会社情報一覧表

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求は下記の販売会社まで

ファンド名称: グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド(為替ヘッジあり)

商号	登録番号等	日本証券業協会	一般社団法人 日本 投資顧問業 協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種 金融商品 取引業協会
エース証券株式会社	金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第6号	○			
auカブコム証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第61号	○		○	
株式会社SBI証券	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
株式会社関西みらい銀行	登録金融機関 近畿財務局長(登金)第7号	○		○	
株式会社埼玉りそな銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第593号	○		○	
七十七証券株式会社	金融商品取引業者 東北財務局長(金商)第37号	○			
株式会社常陽銀行(委託金融商品取引業者 めぶき証券株式会社)	登録金融機関 関東財務局長(登金)第45号	○		○	
東海東京証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長(金商)第140号	○		○	○
とうほう証券株式会社	金融商品取引業者 東北財務局長(金商)第36号	○			
西村証券株式会社	金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第26号	○			
松井証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第164号	○		○	
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第165号	○	○	○	
株式会社三菱UFJ銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第5号	○		○	○
株式会社三菱UFJ銀行(委託金融商品取引業者 三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社)	登録金融機関 関東財務局長(登金)第5号	○		○	○
三菱UFJ信託銀行株式会社	登録金融機関 関東財務局長(登金)第33号	○		○	
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2336号	○	○	○	○
水戸証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第181号	○	○		
めぶき証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第1771号	○			
楽天証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○
株式会社りそな銀行	登録金融機関 近畿財務局長(登金)第3号	○	○	○	